

公益社団法人日本セラミックス協会 第50回学術写真賞 募集要領

協賛 公益社団法人 日本顕微鏡学会

応募対象となるのは、光学顕微鏡、電子顕微鏡、プローブ顕微鏡、X線CTなどで観察されたセラミックスおよび関連材料に関する写真です。郵送不要のメール応募が可能です。皆様からの応募をお待ちしております。

1. 募集部門

下記の4部門で応募を受け付けます。応募者連絡票に応募部門を明記してください。

- (1) TEM/STEM (EDS, EELS, その場観察などの関連手法を含むが3D観察は除く)
- (2) SEM (EDS, EPMA, EBSD, その場観察などの関連手法を含むが3D観察は除く)
- (3) 3D観察 (FIBやSTEMなどによる各種セクションング法, TEM/STEM/X線などによる各種トモグラフィー法, 3Dアトムプローブなど)
- (4) その他顕微鏡法 (AFM・PFM・STMなど電子線を使わないプローブ顕微鏡法や光学顕微鏡など上記(1)~(3)に含まれない観察手法)

2. 応募締切

2025年5月22日(木)

3. 応募資格

- ・応募者に少なくとも1名の日本セラミックス協会会員(個人会員, 教育会員, 学生会員, 特別会員所属の社員)または日本顕微鏡学会会員が含まれていること。
- ・他学協会等の同様の賞を受賞していない作品であること。

4. 応募作品の取り扱い

- ・応募作品(写真と説明)は第38回秋季シンポジウム会場、HPに展示いたします。
- ・受賞作品は日本顕微鏡学会学術講演会での展示も予定しております。
- ・すべての応募作品に参加賞を贈呈します。展示用写真と説明用紙を写真用額縁(A3サイズ)に額装のうえ送付し、こちらを参加賞とさせていただきます。
- ・セラミックス誌および論文誌(Journal of the Ceramic Society of Japan)表紙写真の候補になります。
- ・額装作品の送付時期は、10月頃を予定しております。

5. 学術写真賞の選考と表彰

- ・選考は「学術写真賞選考委員会」が行います。
- ・応募作品の内、下記の観点から選考した優秀な作品に“日本セラミックス協会学術写真賞”が授与されます。

<学術的観点>

新規性: 科学上の事象、事物の発見または幾つかの事象、事物間における関係に関する発見があり、あるいは、現時点で説明することは出来ないが重要な実験事実であると思われるもの。

応用性: 新材料開発や材料の新しい応用に寄与する知見を含む作品と考えることができる。

<技術的観点>

撮影・試料作成技術: 試料作製技術や撮影技術に新規性がある(新規顕微鏡データの採取あるいはより高品位な顕微鏡データの採取のために、試料作製方法や顕微鏡観察手法の工夫がなされている)、あるいは、既知の手法であるが試料作製技術や撮影技術が高度である。

写真の質: 既に開示されている関連データと比べて写真の質(空間分解能、フォーカスや非点等の調整、情報抽出が鮮明、信頼性、美的水準)が優れている。

- ・教科書に使用したいような優れた写真については、特別賞の対象となる場合もあります。
- ・入賞作品には、賞状と副賞が贈られます。
- ・選考結果は、セラミックス誌9月号または10月号およびWEBに掲載予定です。

主なスケジュール(予定)

5月22日	応募締め切り
6月上旬	第1次審査
6月下旬	第2次審査
7月中旬	理事会承認をもって受賞作品決定
9月17~19日	第38回秋季シンポジウム会場にてすべての応募作品を展示
10月頃	額装作品の送付(受賞者には賞状、副賞を同封)
翌年5月頃	受賞作品の日本顕微鏡学会学術講演会での展示

6. 提出物の作成方法・留意点等

応募者連絡票、写真および説明文のフォーマットは下記HPからダウンロードしてください。

<https://www.ceramic.or.jp/act/award/pic.html>

A. 写真について

A4サイズ横長で作成し、フォーマットの記入例を参考にして各辺2cm以上の余白を残してください。

展示は印刷した物で行います。印刷に十分に耐えるような解像度(300dpi以上)をご使用ください。

作品作製のコツ

- 1.うまく学術性の高さを「語る」作品を作りましょう。一枚の写真で伝わりにくい場合は複数の手法や写真を組み合わせた作品を作るのも手です。
- 2.記号の意味をきちんと説明して丁寧な作品を作りましょう。スケールをお忘れなく。
- 3.モノクロでも良いですが、芸術性を上げるために少しでも色を付けると審査員の目に留まりやすいかもしれません。

B. 説明文について

フォーマットに記載のある通り、下記の体裁にて作成してください。

標題(24ポイント、センタリング、“標題”は不要、タイトルだけ)

応募者所属・氏名(ふりがな)(18ポイント、左詰、“応募者所属・氏名:”と記して続ける)

撮影者所属・氏名(ふりがな)(18ポイント、左詰、“撮影者所属・氏名:”と記して続ける)

装置・撮影条件(18ポイント、左詰、“装置・撮影条件:”と記して続ける)

写真の説明(14~16ポイント、左詰、文頭になにも書かずに直接内容を書く)

学術的意義や技術的意義(試料作製方法、撮影方法等について)などを含めて、写真の説明を800字程度(全部で1枚以内)で書いてください。

説明資料作成のコツ

- 1.学術的な意義をわかりやすく書きましょう。難解すぎる専門用語を多用しては意図が伝わりません。
- 2.試料作製や撮影の難易度も書くと良いでしょう。
- 3.「この作品からどんな未来が切り拓かれるのか」を書いたりするのも良いでしょう。

C. 応募方法・応募先

上記AとBをフォーマットに沿ってA3タテ一枚にまとめ、PDFに変換してHPの応募フォームに添付してください。

ファイルサイズは10MB程度としてください。

D. 応募作品の印刷について

上記ABを協会でプリントアウトし、展示します。印刷などの都合上、応募者の意図する色調が厳密に再現できない場合があります。

E. 補助資料について(任意)

応募作品の理解を助けるための補助資料を1点のみ提出を受け付けます。電子媒体の場合はメールにてお送りください。郵送または宅配便等で送付する際は、送付物とともに、応募者の所属、氏名、作品名、返送希望(返送は着払いとなります)の有無を明記してください。ただし大きさは、3辺の合計が60cm以下、重さ2kg以下(ヤマト運輸60サイズ)に限ります。

なお、補助資料の提出は必須ではありません。

F. 過去の受賞作品

<https://www.ceramic.or.jp/act/award/past.html>をご覧ください。

7. お問い合わせ先

公益社団法人日本セラミックス協会 学術写真賞係

メール: shashinsho@ceramic.or.jp Tel: 03-3362-5232 住所: 〒169-0073東京都新宿区百人町2-22-17

URL: <https://www.ceramic.or.jp/act/award/pic.html>